



かすみがうら市議会議員

# 川村 成二

## 議員活動ニュース

### かすみがうら市の明日のために

自 宅：かすみがうら市下稲吉3351-18  
TEL/FAX 029-832-2601 (下原区第13班)  
E-mail : s\_kawamura\_jo@yahoo.co.jp  
連絡所：日立建機労働組合 土浦支部  
TEL:029-831-5337、FAX:029-831-0099

# 平成最後の定例会から

平成最後となる定例議会は、3月1日から22日までの会期で開催されました。  
今定例会では、「学校における働き方改革」「神立停車場線」「健康まちづくり」について一般質問を行い、市政の適切ななじ取りを求めました。

## 学校における働き方改革の取り組み

**質問** 学校における働き方改革は、昨年3月に連合茨城から要請文を提出、同年9月には私の一般質問に取り上げるとともに、同月には茨城県教職員組合から改善に関する要求書が市へ提出された。これまでの取り組み状況について伺う。

**回答** 平成30年度から、夏季休業期間として3日間ほかに、県民の日と各学校の創立記念日を学校閉庁日として設定した。また、中学校の運動部活動基本方針を策定し、学期中は週2日以上(平日1日以上、週末1日以上)を休養日として、1週間の部活動が16時間未満となるよう調整しています。さらには定期的な試験及び学力調査の実施前3日間もあわせて部活休養日と設定しました。

## 教職員の出勤の確認

教職員の出勤の確認については、平成31年1月に文科省より勤務時間の上限ガイドラインが策定されたので、教師の勤務時間に関する方針等を速やかに策定するよう、調整をしています。

**質問** 学校における働き方改革の取組みを実行するために平成31年度予算に計上された事業内容について伺う。

**回答** 平成31年度予算に計上した学校における働き方改革のための事業についてお答えします。  
▼学校支援員は、3名増の25名体制とする。  
▼411万5千円増  
▼IT非常勤講師は、霞ヶ浦北・南小学校に各1名を配置(継続) 増減0  
▼観察実験アシスタントは、4名を活用(継続) 増減0  
▼校務用PCやネットワークサーバーの設定及び保守

作業を専門的知識を有する事業者へ外部委託する。  
232万5千円

▼学校用PCのグループウェア(サイボウズ)を更新し、全学校共通の教職員出退勤管理システムを導入する。  
205万2千円

▼関連する取組みとして、学校夜間の電話対応を留守番電話を用いた運用を行い、教職員の負担軽減を図る。

**質問** 留守番電話の取組みは、各学校長名ではなく教育長あるいは教育委員会名で保護者に対して通達を出すべきと考える。

**回答** 留守番電話については、切りかえる時間とかメッセージの内容を研究する必要もあり、市校長会など必要な協議を行い速やかに運用を進めたい。  
運用に係る保護者への連絡は、教育委員会で一括で行ってまいりたい。

## ◆今後に向けて◆

学校における教職員の働き方改革は、平成31年度予算に教職員の声が反映された具体策も盛り込まれていることから、少しずつ前進しています。  
教職員の意識改革につながる更なる教育環境の底上げに取組みます。

## 神立停車場線開通による市の活性化

**質問** 神立停車場線の開通に向けて、接続される既存道路の安全策の検討を求めてきた。結果を伺う。

**回答** 神立停車場線は、都市計画決定から56年経過し、今般完成に至った。道路は1150mあり、区間内に横断道が9路線あり、県警交通規制課と協議を重ね、ショッピングモール側交差点と市道との交差点の2カ所に信号機を設置する見込みとなった。

残り7路線の横断箇所も信号協議と並行して所轄警察署と停止線及び規制標識等の設置要望や協議などを行ったが、道路幅員や通過交通量の関係などから、停止線は市道1路線のみの設置となりました。

**質問** 交差点となる道路は、地元住民から押しボタン式や感知式等の信号機設置の声もあり、安全策の監視が必要である。

**回答** 停止線が未設置となる6路線は、所轄警察署へ設置の要望、上申は既に済んでおり、次年度以降、交通量などを加味して、順次対応していただけるとい

う返事はいただいている。また、市としては、「一時停止」や「この先幅員減少」などの注意喚起看板を設置し、まずは今できる安全対策を講じたいと考えている。

**質問** 神立停車場線の開通を市の更なる活性化につなげる必要がある。

**回答** 先般、神立停車場線沿線の用途地域を第1種住居専用地域へ変更を行い、幹線道路沿線に中規模な商業・業務施設の立地を可能としたことにより、店舗等の立地を期待している。さらに、沿線に本年度1カ所のポケットパークとして防火水槽・東屋・ベンチ・LED太陽光などを整備し、防災機能が強化されます。来年度も千代田ショッピングセンター近くに同様のポケットパークの整備を行う予定です。また、都市計画マスタープランの改定及び立地適正化計画の策定を、今年度より3カ年の計画で進めています。特に立地適正化計画は、



完成したポケットパーク



交差点に設置された注意喚起看板

急速に進む人口減少や高齢化に対応する施策としてコンパクトなまちづくりを実現するために制度化され、都市機能や町なか居住の緩やかな誘導を図り、持続可能な集約的都市の形成を目指すものです。

具体的な内容は、第2次かすみがうら市総合計画と整合性をとり、来年度以降既に策定されている土浦市の計画と調整を図りながら計画策定を進めたい。

**質問** コミュニケーションができる新たな公共施設や、以前から必要性を訴えている図書館や都市公園の設置を市街地に誘導するなど、魅力ある市街地形成を実現していただきたい。

**回答** 中心市街地、特に神立駅の橋上化を初め、西口地域の土地区画整理事業、神立停車場線の開通、新たな公共交通、バス路線の運行など、さまざまな都市型の魅力ある町並みを形成することが重要です。

現在、JR神立駅を中心に中心市街地内に土地利用の基礎調査を実施をしています。停車場線開通とともに民間の土地利用の推進が図れると予測しており、早急的な対応が必要と考えています。

◆今後に向けて◆

供用開始した神立停車場線には防犯灯が設置されていないことから、平成31年度予算審議において整備を求めました。魅力ある市街地形成の実現に向け取組めます。

健康まちづくりの拡充と浸透策

**質問** 平成29年3月に「健康まちづくり宣言」をしたが、狙いに沿った事業展開が実施されているか伺う。

**回答** 宣言を機に、土浦協同病院や神立病院との健康づくりの協定を締結するなど、本格的な健康事業の展開を図っている。具体的には人間ドックの助成枠の拡大や実施項目の追加など、多種多様な健康事業を一新し、集大成として、「健康まつり」を実施している。

**質問** ボランティアサークルなどの諸活動や公民館活動も健康づくりに貢献しているが、ボランティアメンバーから、参加拡大を支援し、推進しているとは思えないとの声が聞かれた。

**回答** 数多くのボランティア団体があるが、目的や活動内容も相違しているので、関連部署と連携を図り、横のつながりをしっかりと結ぶように検討したい。浸透策として、あじさい館や各庁舎などの公共施設に体と食の健康づくり情報を1カ所に集約した「健康まちづくりコーナー」を設置すれば、広く市民にPRできると考える。

健康まちづくりの拡充と浸透策

**質問** 活動状況などを市民にご案内できるように、PR活動の場として庁舎内の空きスペース等を活用することを検討します。

また、平成32年度には旧六倉小学校へ「仮ウェルネスプラザ」を開設し、保健センターや地域包括支援センターが移転することから、幅広い年代層に情報発信できるように積極的に活用するとともに、健康コーナーや相談窓口などの設置を進めます。

**質問** 「健康まちづくりコーナー」には、市民が利用できる備品の設置や健康相談できるスペースの確保も検討していただきたい。

**回答** 血圧計や握力計等、健康状態が簡易に測定できる機器の設置も考えます。また、健康相談窓口設置などは、人的配置や場所

平成31年度予算可決

平成31年度の一般会計予算は、前年度比18億2千万円増、過去最大185億4千万円を計上しました。市税は、個人市民税、固定資産税などの増収を見込み55億5千2百万円、地方交付税は、広域新ごみ処理

平成31年度【一般会計】歳入予算

項目	金額	前年比
市民税	26億1,170万円	1.8%
固定資産税	25億4,184万円	2.1%
軽自動車、たばこ等	3億9,860万円	▲1.5%
地方税	55億5,214万円	1.7%
繰入金、繰越金他	26億1,628万円	47.8%
自主財源	81億6,842万円	13.0%
地方交付税	40億6,900万円	17.9%
国庫支出金	21億3,030万円	▲4.5%
地方債	17億8,430万円	19.4%
県支出金	12億743万円	2.9%
地方消費税等交付金	9億5,453万円	4.2%
地方譲与税	2億2,600万円	0.0%
依存財源	103億7,157万円	9.3%
歳入合計	185億4千万円	10.9%

施設建設に対する交付税を見込み40億6千9百万円、地方債は、防災無線整備、神立駅周辺整備、複合型健康福祉拠点施設整備事業等が重なることから、17億8千4百万円を計上しています。

一般会計事業の主な取り組み

- ▼複合型健康福祉拠点整備 (6億468万円)
- ▼旧六倉小学校施設を転用し「仮ウェルネスプラザ」を整備
- ▼市道整備事業 (2億7850万円)
- 石岡・かすみがうら広域幹線道路整備に関する詳細設計
- 稲吉東地区の流入雨水パイパス工事／調整池の暫定整備
- 西成井地区交差点改良工事
- ▼企業立地促進事業 (1億9670万円)
- 新増設した企業への助成金の交付や事業者の販路拡大を目的とするPRイベントや商談などの経費の一部を助成する。
- ▼歩崎公園管理運営事業 (1億2797万円)
- 湖の魅力を高めるため、歩崎公園の湖畔に栈橋を整備する。
- ▼下稻吉中学校施設整備 (7295万円)
- 避難所機能を備えた新たな体育館の整備に着手する。
- ▼千代田中学校区 統合小学校環境整備 (5014万円)
- 現千代田中学校施設を増改築し、義務教育学校として平成34年度開校を目指し整備
- ▼公共交通対策事業 (4261万円)
- 「かすみがうら市地域公共交通再編実施計画」に基づく事業を実施し、持続可能な交通体系の構築を目指す。
- ▼20年4月から入学祝い品としてランドセル贈呈 (640万円)

等、問題点を検討する必要があり、ウェルネスプラザのオープンに合わせ、健康相談等ができる環境づくりを検討したい。

**質問** 石岡市やひたちなか市はポイント制度を導入して効果をあげている。健康づくりの行動を起こさせる積極的な政策事業として有効な手段と考える。

**回答** ご紹介いただいたポイント事業は、市民へ健康づくりの意識高揚を図

るために大変参考になる有効な手段だと考えます。他の自治体の実態状況も調査して、本市にとつてどのような制度が最適なのか研究してまいります。

◆今後に向けて◆

急速に進む高齢化や生活様式の変化等に対応するためにも健康事業の推進は欠かせません。健康まちづくりの拡充を求めていきます。